

ディベートのルール

(1) 概要

ある 1 つの論題が与えられ、肯定側チーム(Government)と否定側チーム(Opposition)に分かれ、一般聴衆であるジャッジを説得する。肯定側か否定側かは主催者によって決められ、ディベーター自身で選ぶことはできない。より説得力（議論の中身，説明の仕方など）があったチームが勝ちとなる。

(2) ディベーターの人数

各チーム 3 名の計 6 名。それぞれの役割名と内容を図 1 に示す。

(3) 準備時間 (Preparation Time)

15 分

(4) スピーカの順番，時間

スピーチの順番は図 1 の矢印の通りである。スピーチ時間は，3 分または 2 分である。ただし，前後 30 秒は許容範囲である。ジャッジはスピーチの終了時間の 30 秒前に 1 回ノック，スピーチ終了時間に 2 回ノック，終了時間 30 秒後にはノックをし続ける。（例えば，3 分のスピーチであれば，2:30 で 1 回ノック，3:00 で 2 回ノック，3:30 でノック継続）

スピーカとスピーカの間には，準備時間はない。スピーカはジャッジに呼ばれれば，速やかに演台に移動する。

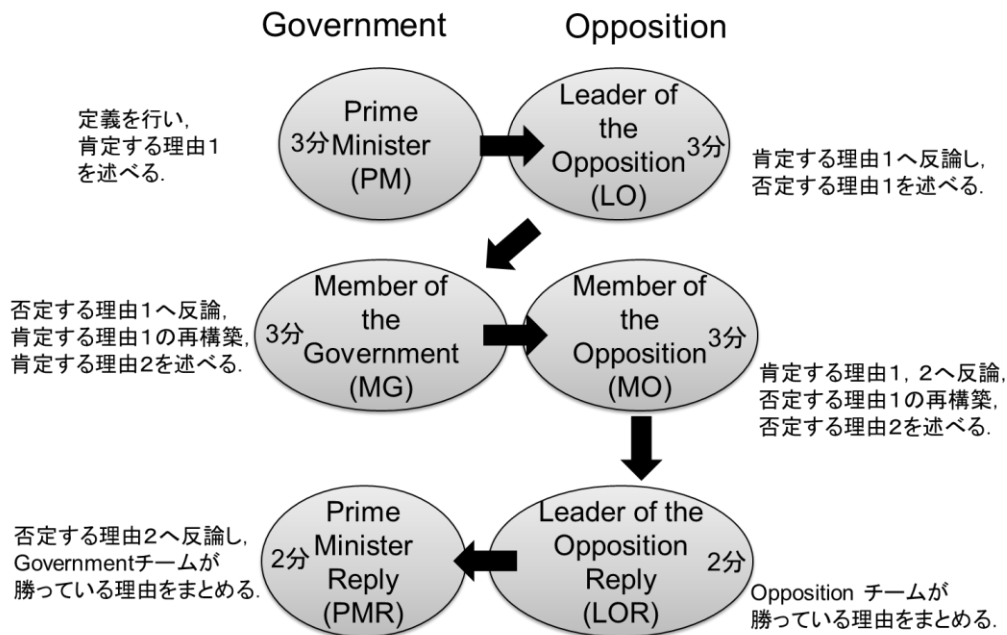


図 1 ディベート概略図

(5) スピーチ内容

最初の 4 つのスピーチを Constructive Speech (立論), 後の 2 つのスピーチを Reply Speech (まとめ) という。Constructive Speech ではどのような論点を述べてもよいが, 基本的に Reply Speech では, Constructive Speech で述べていない新しい論点は出せない。

(6) 質疑応答 (POI, Point of Information)

相手チームのスピーチ中に, 質問やコメントを 15 秒以内で発言することができる。それを Point of Information (POI) といい, “On the point, sir” や “POI” などと声をかけ, 質問する。質問を受けるか否かは, スピーカが決めることができ, 受ける場合は “Yes, please.”, 受けない場合は “No thank you.” などのように答える。

なお, POI はいつ行ってもよい。ただし, POI をして一旦断られた場合は, その 15 秒後以降から再度 POI をすることができる。POI の間もストップウォッチの時間は止めない。

(7) ディベート終了後

ディベートラウンドが終了すれば, 対戦相手と握手を交わす。

(8) ジャッジ

ジャッジは, 新聞を読んでいれば分かる一般的な知識を持つ人と想定する。個人的な考え, 専門知識, 偏見をできるだけ排除し, 客観的に判定する。基準は主に「内容」と「表現」の 2 つである。

<内容>

- ・ 主張に理由があったか
- ・ 反論があったか
- ・ 例やデータを用いて, 十分に説明をしているか
- ・ POI で積極的に議論しているか

<表現>

- ・ はっきりと分かりやすい言葉で話しているか (声の大きさ, スピード, アイコンタクト, 身振り手振りなど)
- ・ 構成は分かりやすいか (論点の順番, ナンバリング, サインポスト)
- ・ スピーカの役割を果たしているか

(9) その他

- ・ スピーチは前で立って行う。
- ・ スピーチ中は, チームメイトと話せない。
- ・ POI を行う時は立つ。断られれば座る。
- ・ スピーカの順番は, 論題発表前に決めておく。

